

T S U R U M I



T S U R U M I

平成 28 年度版

発見つるみ！



～データで見る鶴見区～

T S U R U M I



T S U R U M I

はじめに

区民の皆様には、日頃より、区政の推進に御理解、御協力をいただきましてありがとうございます。

鶴見区は、昭和2年の誕生以来、日本の高度経済成長を支えてきた臨海部の産業の発展とともに、就業者のための住宅地として、また、居住者・就業者の生活や利便性を支える商業地として、『商・住・工』の機能それぞれが密接な関連を持ち、一体となって発展してきました。現在では、人口は約29万人（市内18区中第3位）、世帯数は約13万世帯（市内18区中第2位）に達し、今もなお増加し続けております。

また、平成29年10月には、鶴見区制90周年を迎えます。「ワクワクつるみ！」をキャッチフレーズに、様々なイベントで90周年を区内全体で盛りあげていき、ますます魅力的で元気のある鶴見区の未来につなげたいと考えています。

本書では、人口や産業をはじめ、生活に関連する様々なデータをもとに、鶴見区の特徴をまとめています。これまでの鶴見、そして、これからの鶴見を考えていただく際の資料として、御活用いただければ幸いです。

最後に、発刊にあたり、貴重な資料を御提供いただきました関係諸機関をはじめ、御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成28年12月 鶴見区長 征矢 雅和

目次

1 鶴見区のプロフィール

区の歩みと現状・誕生・地勢	1
略年表	2
鶴見区の主な指標	3

2 人口

人口の動向	4
年齢別人口の状況	5
外国人住民	7
就業状況・労働力人口	8
流出人口・流入人口・昼夜間人口	8

3 産業

事業所	9
商業	10
工業	11

4 暮らしと環境

住宅・消防	12
交通・犯罪	13
環境	14
区民フェスティバル	15
市税・戸籍	16
生活保護・子育て	17
健康・選挙	18

コラム 鶴見区友好交流都市の紹介

つるみマップ

～ご利用にあたって～

構成比、総数の合計については、端数を四捨五入しているため、内訳計と一致しない場合があります。





1 区の歩みと現状・誕生・地勢



鶴見区シンボルマーク
平成3年2月14日制定

区政施行：昭和2年10月1日
〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央三丁目
20番1号
Tel 045-510-1818 (代表)
Fax 045-510-1889

面積：32.38k㎡ (平成28年10月1日現在)
人口：287,156人 (同上)
世帯数：134,388世帯 (同上)
区民の花：サルビア (平成3年11月制定)
区の木：サルスベリ (平成9年10月制定)
マスコット：ワックン (昭和63年1月制定)

● 区の歩みと現状

鶴見区は市の北東部に位置し、昭和2年10月1日、横浜市の区制施行により誕生しました。「鶴見」の名は鎌倉時代の史料からも現れており、源頼朝がこの地で鶴を放ったという伝説からその名がついたという説もありますが、「ツル」は「鶴」とは関係なく水路や河川の周辺の地を、「ミ」は「まわり、めぐり」を意味する語で、「ツルミ」は蛇行している鶴見川の地形を表しているという説もあります。

鶴見は、江戸時代の頃から鶴見川の水運や東海道を往来する人によって、川筋や街道筋が賑わっていました。漁業が盛んだった沿岸部では、明治の頃から埋め立てが進み、京浜工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。戦後は、高度経済成長とともに、商工業の集積と人口増加が進みました。

現在の鶴見区は、約29万人の人口を擁し、住宅地が連なる丘陵部「丘のまち」、鶴見川に沿った「川のまち」、臨海部の「海のまち」で構成されています。

住宅地が連なる市街地や、斜面樹林を背景とする神社仏閣が点在する「丘のまち」では、自然や歴史をいかしたまちづくりが進んでいます。

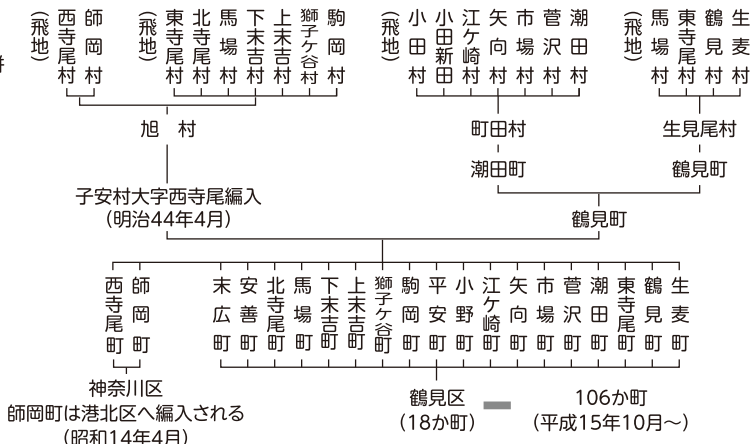
鶴見川を中心とした「川のまち」では、工場から住宅などへの利用転換が進み、工業、商業、住宅が混在するまちとなっています。外国人が多く住む国際色豊かな地域でもあり、鶴見川は、多くの区民が散歩などで親しむ鶴見区のシンボルとなっています。

臨海部の「海のまち」では、生命科学の世界的な研究施設である「理化学研究所『横浜研究所』」や産学連携を推進する「産学共同研究センター」などが末広地区に整備され、国際的な一大研究拠点＝横浜サイエンスフロンティアとしての再編整備が進んでいます。



● 誕生

神奈川県橋本郡
(明治22年) 町村分合改称令により各村合併
(大正14年4月) 町制施行
1か町1か村になる



神奈川県横浜市
(昭和2年4月) 横浜市に編入
(昭和2年10月) 区制施行

● 地勢

- 極東：扇島
- 極西：上の宮二丁目
- 極南：大黒ふ頭
- 極北：矢向六丁目
- 最高地：馬場四丁目 (海面からの高度 47.2m)

資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市民局

2 略年表

年	月	できごと
建久元(1190)	—	源頼朝、上洛 鴨志田十郎、馬場次郎、寺尾太郎、寺尾三郎太郎などが 随行したことが『吾妻鏡』に記されている(平安時代末期)
承久3(1221)	—	承久の乱 戦傷死者のなかに潮田四郎太郎、潮田六郎、寺尾又太 郎、寺尾左衛門尉などの名前が『吾妻鏡』に記されている
元弘3(1333)	—	新田義貞率兵・鶴見合戦おこる
建武元(1334)	—	『松蔭寺古図』作成(室町時代)
永享8頃(1436)	—	諏訪氏が寺尾城を築城 以後、初代諏訪右馬助から5代目馬之丞に渡って諏訪氏 が城主を受け継ぐ。
天正3(1575)	—	寺尾城主 諏訪氏滅亡
慶長5(1600)	10	関ヶ原の戦い
	6(1601)	五街道を整備 鶴見橋(現・鶴見川橋)架設
	16(1611)	二ヶ領用水完成
嘉永6(1853)	6	ペリー来航
安政6(1859)	6	横浜開港(6月2日開港記念日)
文久2(1862)	8	生麦事件おこる
明治5(1872)	9	12日新橋～横浜間鉄道開通、13日鶴見駅開業
	22(1889)	市制施行(人口11万6193人) 市制施行に併せて、鶴見地域に旭村、生見尾村 (後の鶴見町)、町田村(後の潮田町)誕生
	31(1898)	京浜急行電鉄の前身「大師電気鉄道」設立
	44(1911)	曹洞宗大本山總持寺 鶴見に移転
大正2(1913)	2	浅野総一郎、鶴見埋立組合を組織し、鶴見海岸 495ha(150万坪)の埋立に着手
	3(1914)	平岡廣高、児童遊園地「花月園」を開園
	12(1923)	関東大震災発生
	14(1925)	鶴見町(旧生見尾村)と潮田町(旧町田村)が合併 鶴見町となる
	15(1926)	鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
	11	第一京浜国道全通
昭和2(1927)	4	鶴見町、旭村(現在の鶴見区全域と神奈川県・港 北区の一部)が横浜市に合併
	10	鶴見区誕生 人口6万2446人 (鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の5区で区制施行)
	3(1928)	市電子安線生麦～金港橋間開通
	18(1943)	私鉄鶴見臨港鉄道を国が買収し、国鉄鶴見線開業
	21(1946)	児童遊園地「花月園」閉園
	25(1950)	花月園競輪場開場
	29(1954)	三ツ池公園開園
	31(1956)	横浜市、政令指定都市に指定
	33(1958)	第二京浜国道全通
	9	台風22号で鶴見川氾濫 家屋水没648世帯、 床上浸水14000戸
	38(1963)	11 国鉄鶴見事故161人死亡
	41(1966)	8 市電生麦線廃止
	42(1967)	5 鶴見川、1級河川に指定
	44(1969)	5 「鶴見会館」開館
	50(1975)	4 獅子ヶ谷市民の森開園
	52(1977)	10 区制50周年 人口23万7678人 (『鶴見区史』編纂・出版)
	55(1980)	1 鶴見図書館開館
	12	末吉地区センター開館(鶴見区第1号)
	60(1985)	10 鶴見公会堂開館
	61(1986)	3 鶴見駅西口市街地改造事業完了 (本市施行の初の再開発事業)
	62(1987)	10 区制60周年 人口24万3751人 (『鶴見の歴史と人々の暮らし』編纂・出版)
	63(1988)	1 鶴見区新総合庁舎完成 鶴見区マスコット「ワックン」制定 「横溝屋敷」市指定文化財第1号に指定
平成元(1989)	9	ベイブリッジ・スカイウォーク完成
平成2(1990)	6	上寺尾小学校コミュニティハウス(鶴見区第1号) 開所
	7	大黒ふ頭埋立完成

年	月	できごと
平成3年(1991)	2	鶴見区のシンボルマーク制定
	11	区民の花(サルビア)決定
6(1994)	5	鶴見駅西口行政サービスコーナー設置 潮田交流プラザ(国際学生会館・地区センター・ 地域ケアプラザ(鶴見区第1号)・ふれあいショップ ポート)開館
	12	高速湾岸線(鶴見つばさ橋)開通
7(1995)	4	環境事業局鶴見工場本格稼働
8(1996)	7	大黒海づり公園開園 高齢者保養研修施設「ふれーゆ」オープン
9(1997)	5	入江川せせらぎ緑道開通
	10	区制70周年 人口25万883人 (『鶴見懐かしの写真集』を編纂・出版)
	10(1998)	10 区の木(サルスベリ)決定 中途障害者地域活動センター「ふれんどーる鶴見」 開所
11(1999)	7	馬場花木園開園
	10	福祉保健活動拠点開設
12(2000)	4	理化学研究所「横浜研究所」発足
	5	特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所
	11	障害者地域活動ホーム「幹」開所
	12	「馬場赤門公園」開園
13(2001)	3	「産学共同研究センター」開設
	4	「市立大学大学院(連携大学院)」開校
14(2002)	1	福祉保健センター開設
15(2003)	4	横浜新技術創造館「リーディングベンチャープラ ザ」開館
16(2004)	4	国道357号線開通
18(2006)	1	「ゆうづる」(鶴見市場地域ケアプラザ・鶴見市場 コミュニティハウス)開所
19(2007)	3	東部地域中核病院「済生会横浜市東部病院」開院
	5	鶴見中央地域ケアプラザ開所
	10	区制施行80周年 人口26万7447人 (『つるみみやげ』制定)
21(2009)	4	横浜サイエンスフロンティア高校開校
22(2010)	3	花月園競輪場閉園
	11	「鶴見会館」閉館
	12	鶴見中央コミュニティハウス開館 鶴見国際交流ラウンジ開館
23(2011)	3	区民文化センターサルビアホール開館 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業完了
24(2012)	1	生麦地域ケアプラザ開所
	11	鶴見駅 駅ビル「シャル鶴見」開業
25(2013)	4	鶴見駅西口第二自転車駐輪場オープン(1,000台を収容)
27(2015)	2	馬場地域ケアプラザ開所
	8	二ツ池公園一部公開
	11	鶴見駅東口駅前広場整備完了

COLUMN 江戸時代の鶴見

江戸時代、鶴見の東海道筋は、街道の生麦村、鶴見村、市場村などに人が集まり、神奈川宿と川崎宿の間で「間の宿」として、にぎわいをみせていました。鶴見区域の大部分は幕府の直轄領(天領)で、代官が治めており、旗本領としては、獅子ヶ谷・駒岡・潮田(一時期)などがありました。

また、江戸時代の生麦は「御菜ハケ浦」の一つとして栄え、新鮮な魚介類を江戸城に献上していました。御菜ハケ浦とは、江戸城の御菜御肴を定期的に献上するほか、各種の船役を勤める見返りとして、現在の東京湾の漁猟に特権を認められていた専業漁業村落のことです。生麦以外には、芝金杉、本芝、品川獵師町、大井御林町、羽田(いずれも現東京都)、神奈川獵師町、新宿(いずれも現神奈川区)の7浦が指定されていました。

3 鶴見区の主な指標

区分	鶴見区	横浜市	18区中順位	基準日
人口	287,156 人	3,731,293 人	3位	H28.10.1
世帯数	134,388 世帯	1,660,256 世帯	2位	H28.10.1
面積	32.38 km ²	435.29 km ²	4位	H28.10.1
人口密度	8,868 人/km ²	8,572 人/km ²	7位	H28.10.1
平均年齢	43.48 歳	44.98 歳	15位	H28.1.1
老年人口比率 (65歳以上)	20.5%	23.4%	14位	H28.1.1
年少人口比率 (15歳未満)	13.1%	12.5%	6位	H28.1.1
事業所数 <small>(H26 経済センサス基礎調査)</small>	9,050	119,509	3位	H26.7.1
事業所従業者数 <small>(H26 経済センサス基礎調査)</small>	110,405 人	1,491,163 人	5位	H26.7.1

※順位は数値の大きいものから並べた際の順位です。

※事業所数及び事業所従業者数は、民営事業所数の数字です。

COLUMN 平成 29 年は、鶴見区制 90 周年！

昭和2年 10月1日、鶴見区は横浜市で最初の5区の一つとして誕生しました。

京浜工業地帯の発展とともに成長してきた鶴見区は、平成 29 年 10 月に区制 90 周年を迎えます。平成 29 年 1 月～ 12 月の 90 周年イヤーは、鶴見区が“ますます魅力的で元気なまち”になるよう、地域の方と連携して様々な記念事業やイベントを行います。

200 件を超える応募の中から決定したキャッチフレーズ「ワクワクつるみ！」、そしてそのキャッチフレーズの入ったロゴマークが、祝賀ムードをより盛り上げてくれています。



鶴見区制 90 周年ロゴマーク

鶴見区 90 周年

検索





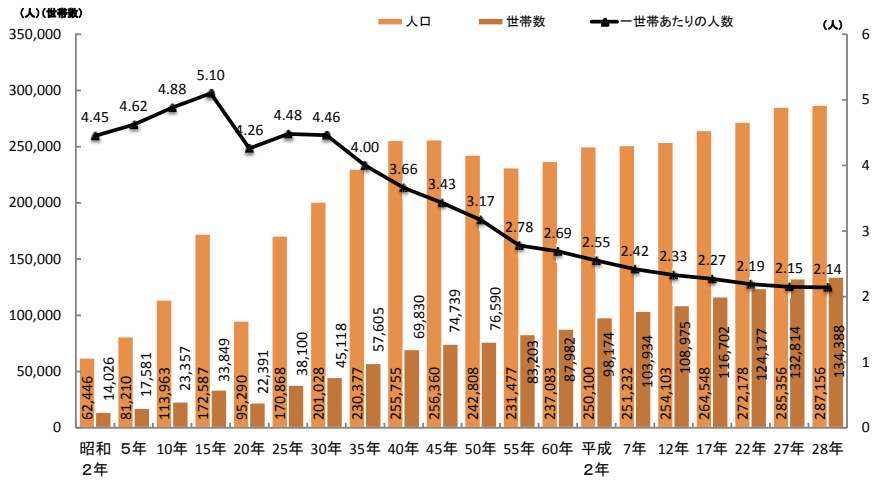
1 人口の動向

● 人口及び世帯数の推移

戦後、増え続けていた人口は昭和43年7月の260,777人をピークに一時減少し、昭和56年4月には229,945人と落ち込みましたが、その後は緩やかな増加が続いています。一方、世帯数は年々増加しています。

平成28年10月1日現在、鶴見区の人口は287,156人であり、世帯数は134,388世帯となっています。

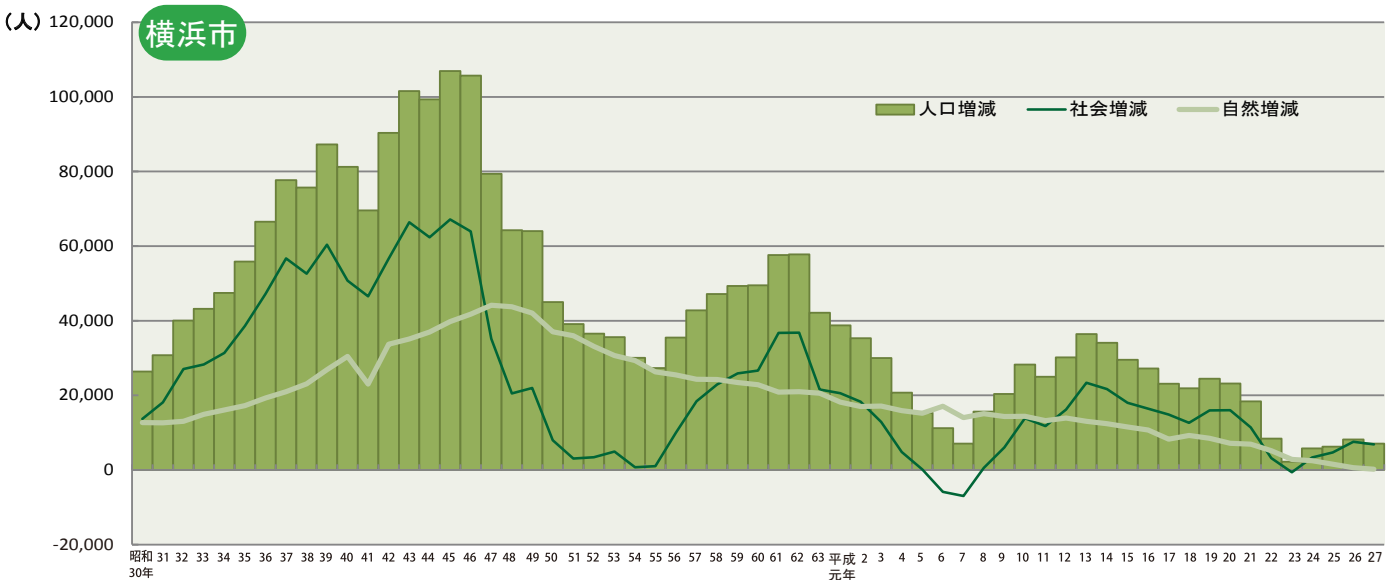
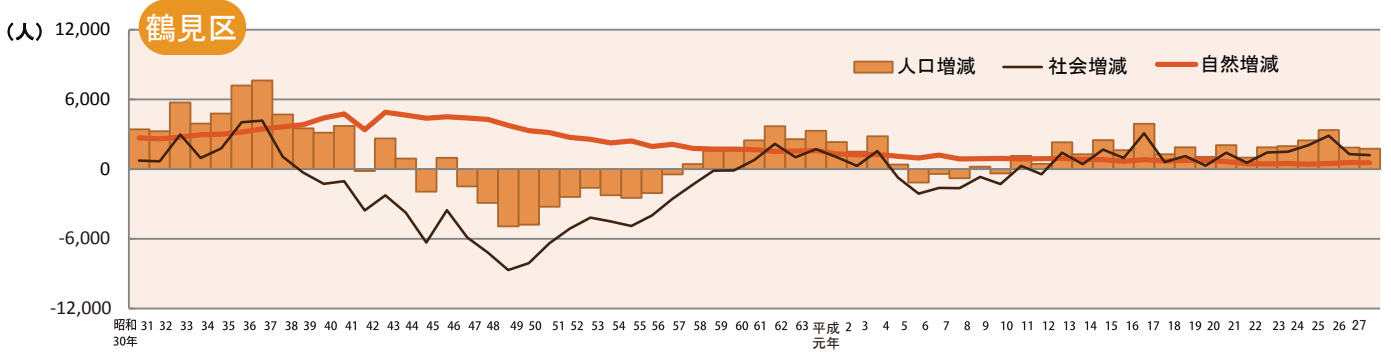
※国勢調査の結果数値（各年10月1日現在）、昭和2年は12月31日現在



● 人口増減・社会増減・自然増減の推移

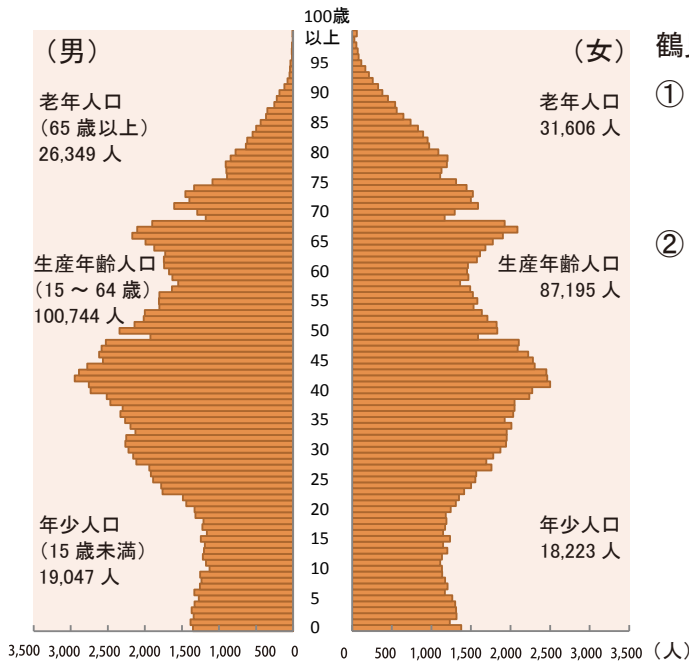
鶴見区の人口は、増減を繰り返しながら推移しています。昭和40年代後半に、転出者数が転入者数を上回ったこと(社会減)により、人口が大きく減少した時期がありました。その後、昭和50年代後半から人口が増加したものの、いわゆるバブル期を経て再び社会減の傾向が続きましたが、平成12年から社会増に転じ、近年は比較的安定した数で増加しています。

資料：横浜市の人口 人口動態と年齢別人口



2 年齢別人口の状況

鶴見区人口ピラミッド (H27.10.1 現在)



鶴見区の人口ピラミッドには大きく2つの特徴があります。

- ① 40歳代前半の第二次ベビーブーム時期の人口が、65歳前後の第一次ベビーブーム時期の人口より大きな山を描いています。
- ② 0～10歳までの人口が増加しており、ピラミッドの裾野が全国及び横浜市のピラミッドに比べて広がっています。

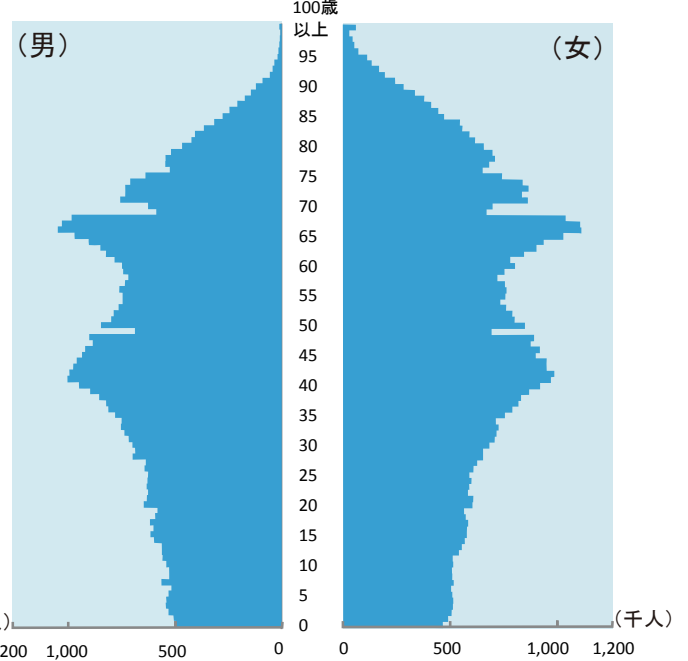
鶴見区は年少人口が増加の傾向にあるんだね！



横浜市人口ピラミッド (H27.10.1 現在)



全国人口ピラミッド (H27.10.1 現在)



COLUMN 平成27年国勢調査の結果

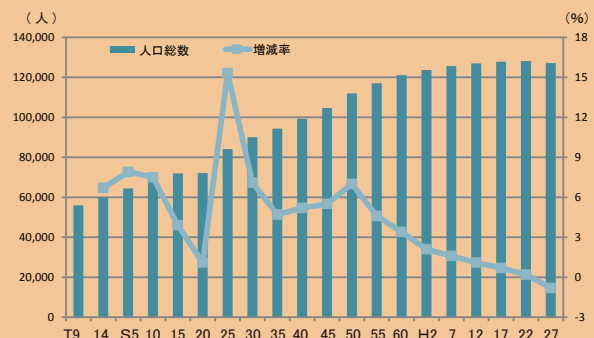
昨年行われた国勢調査の結果の一部が平成28年10月26日に公表されました。

平成27年10月1日現在の全国の人口は1億2709万5千人となり、前回調査の平成22年と比べると、人口は96万3千人減少し、大正9年の調査開始以来、初めての人口減少となりました。

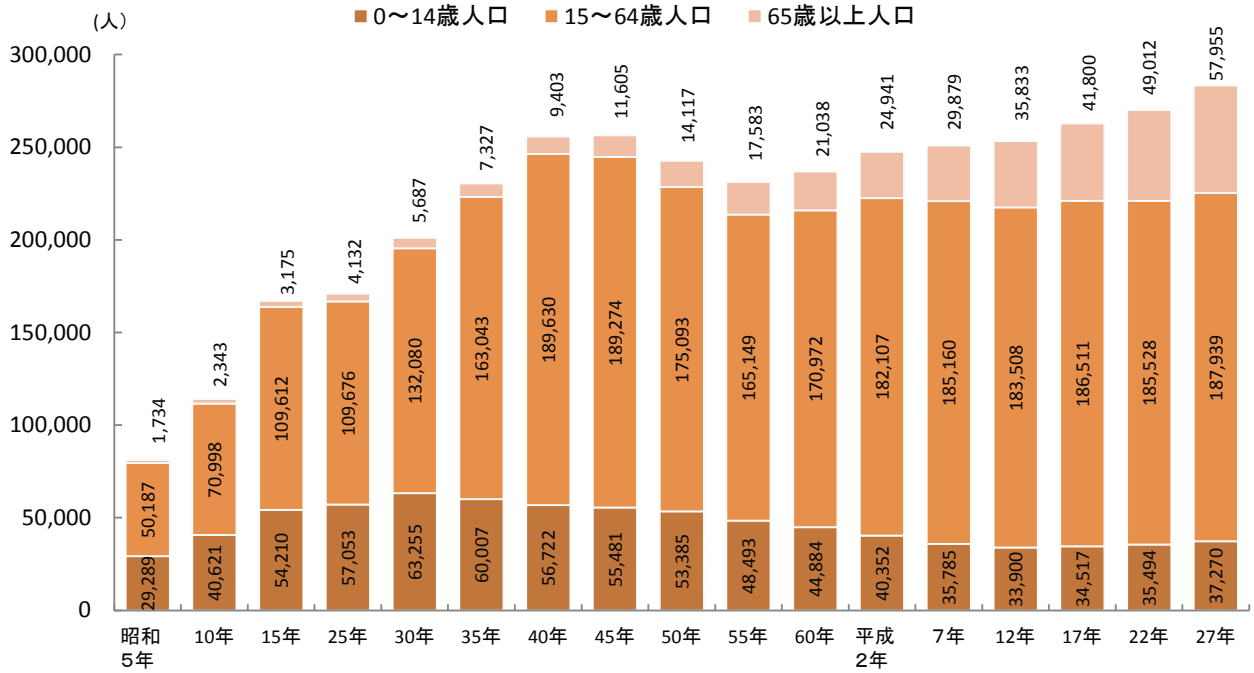
国勢調査の結果は総務省統計局のホームページに掲載されています。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

調査に御協力いただき、ありがとうございました



● 年齢3区分別人口の推移



※国勢調査の結果数値（各年10月1日現在）

年齢3区分別人口をみると、老年人口の増加が進んでおり、平成12年に0～14歳の年少人口と、65歳以上の老年人口の数が逆転したあと、近年その差が広がる傾向にあります。また、0～14歳の年少人口は、昭和30年以降減少してはいましたが、平成12年以降は、微増しています。



65歳以上の老年人口が少しずつ増えているね。

Have a break



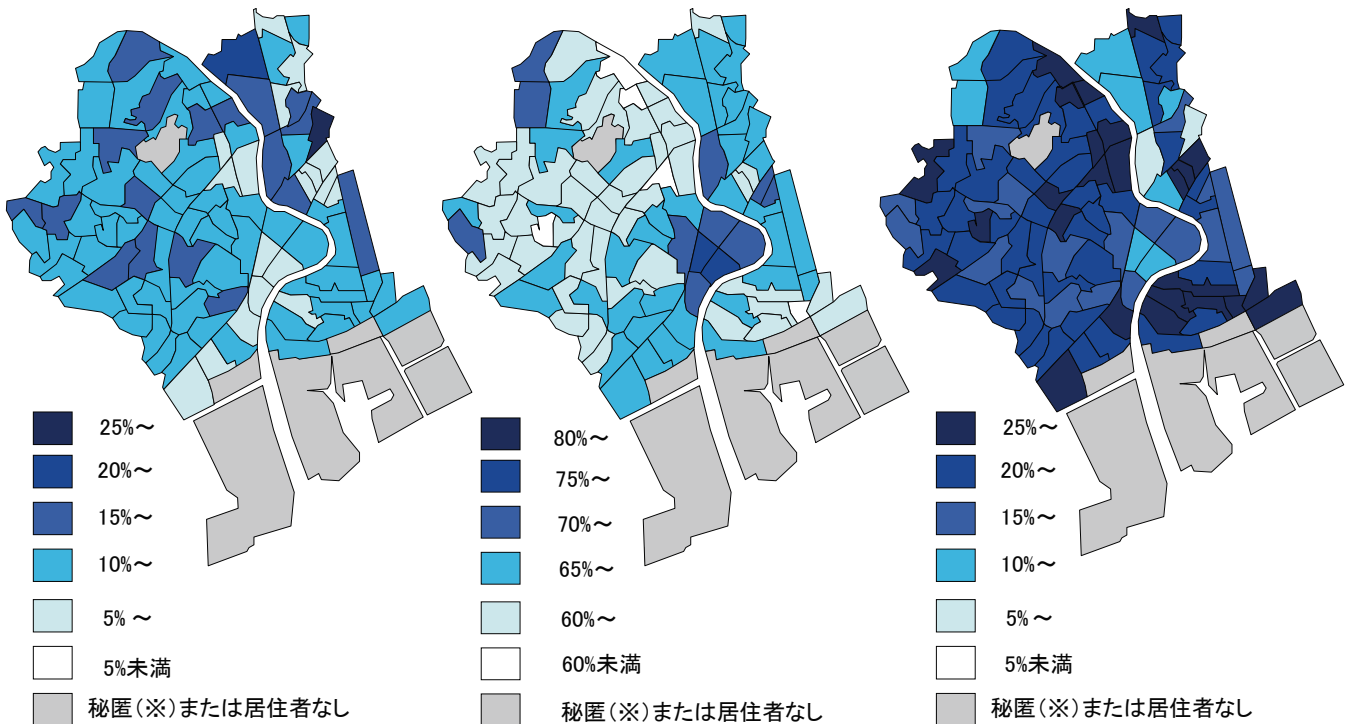
地図で見る鶴見 ～年少・生産年齢・老年の各人口比率～

住民基本台帳等（H28年3月31日現在）※大黒ふ頭、扇島は省略しています

年少人口（15歳未満）人口比率

生産年齢人口（15～64歳）人口比率

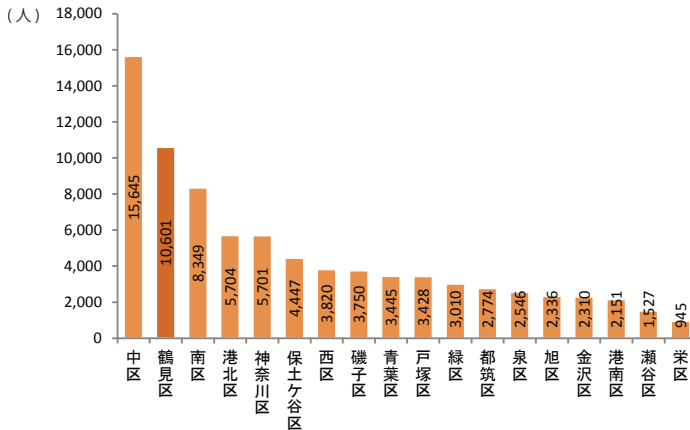
老年人口（65歳以上）人口比率



(※) データを示すことで個人が特定される恐れのあるものは「秘匿」としています。

3 外国人住民

● 区別外国人住民



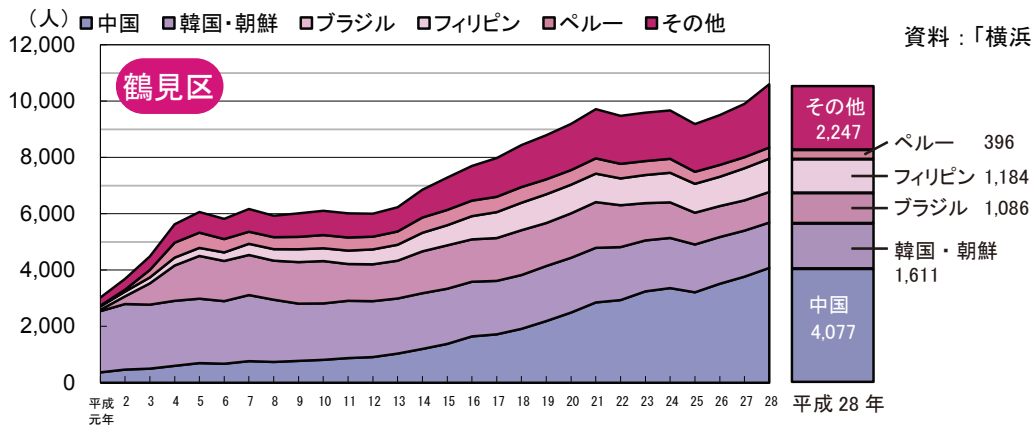
平成 28 年 3 月 31 日現在の鶴見区の外国人住民数は 10,601 人です。これは中区に続いて市内 2 番目の多さとなっています。国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジル国籍の構成比が大きいことが分かります。

鶴見区は、外国人児童数（※）が 310 人で、南区に次いで二番目に多いよ！

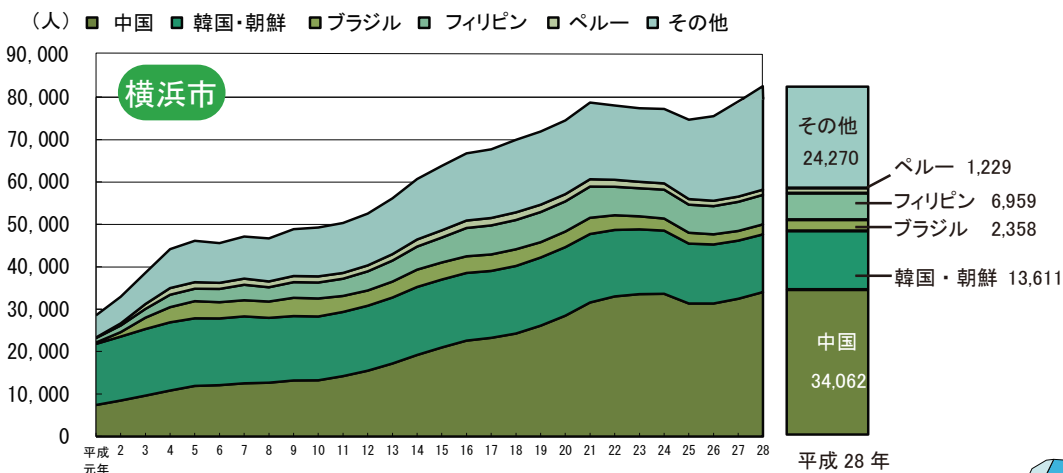
※ 市立小学校に通う外国人児童の数
資料：横浜市教育委員会「市立学校現況」
(平成 28 年 5 月 1 日現在)



● 国籍別外国人住民数の推移



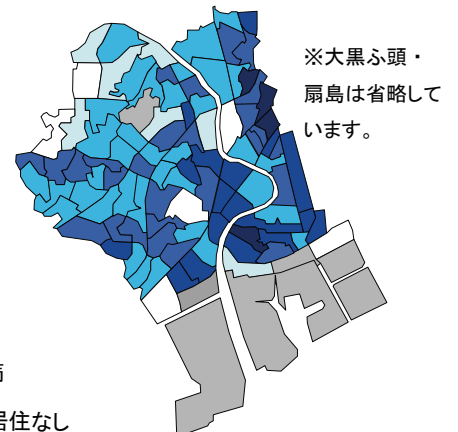
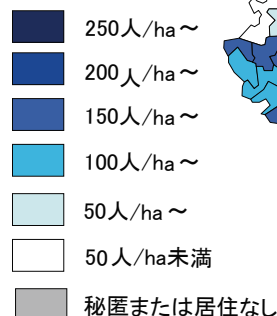
資料：「横浜市統計書」各年 3 月末現在



地図で見る鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一丁目・三丁目、本町通、市場上町などです。また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

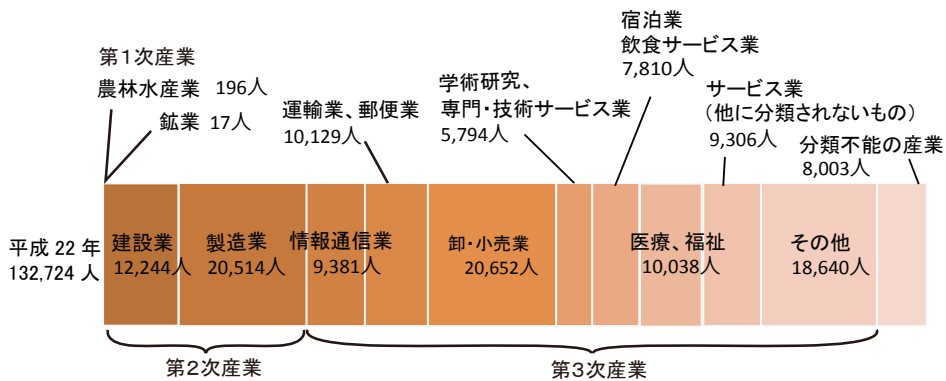
住民基本台帳等 (H28 年 3 月 31 日現在)



4 就業状況・労働力人口

● 就業状況

鶴見区就業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、卸売業・小売業の就業者数が20,652人と最も多くなっています。



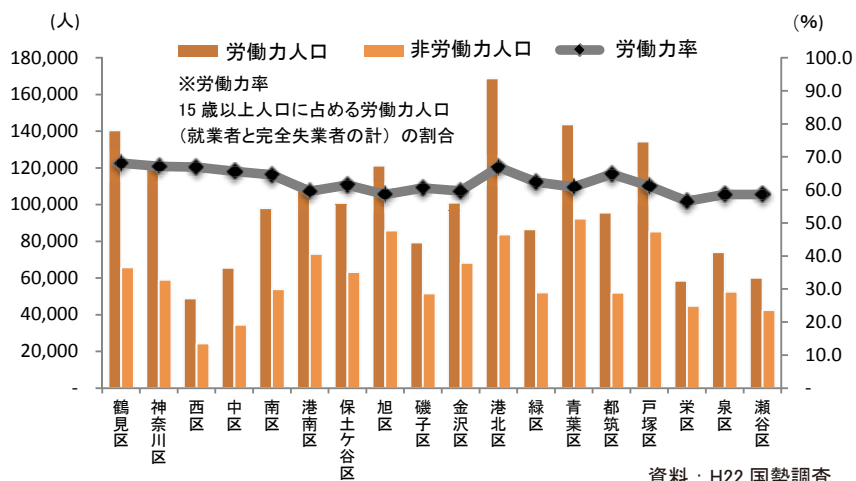
● 労働力人口・労働力率

鶴見区の労働力人口は、140,424人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。

一方、鶴見区の労働力率は68.1%で、18区中1位となっています。



鶴見区の労働力率は18区の中で一番高いんだね！

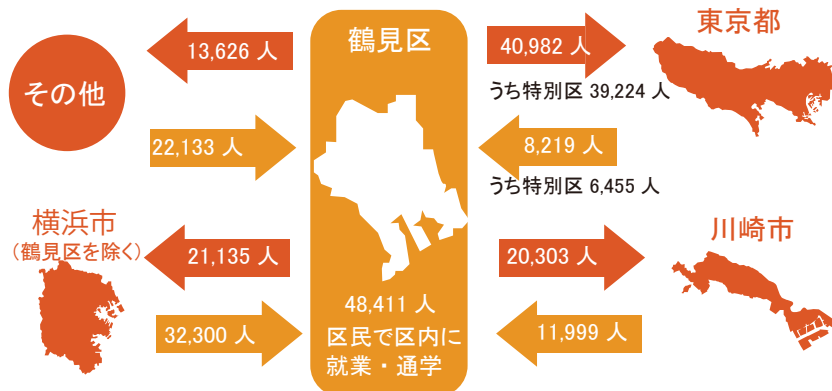


5 流出人口・流入人口・昼夜間人口

● 流出人口・流入人口

鶴見区に常住（居住）する15歳以上の就業者及び通学者数は144,457人で、そのうち、区内で就業・通学する者は48,411人、自市内他区へ就業・通学する者は21,135人となっています。

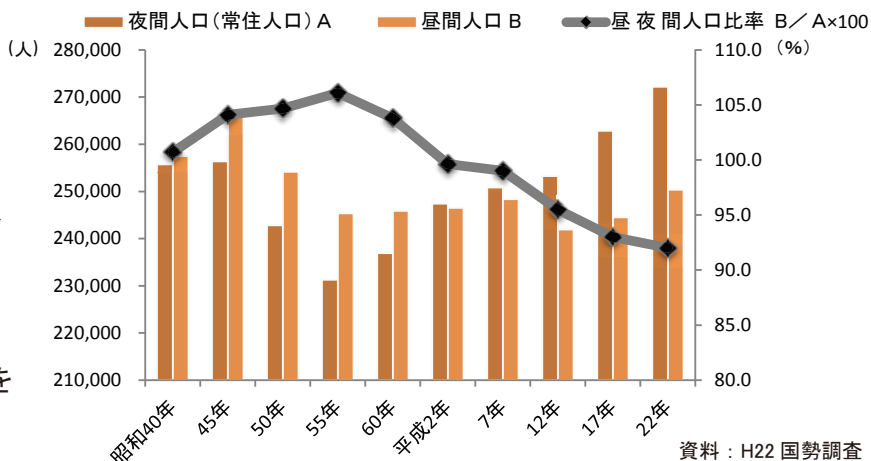
また、横浜市以外では、鶴見区からは東京都への流出が40,982人と最も多くなっています。



● 昼夜間人口

平成22年の鶴見区の昼間人口は250,323人、夜間人口は272,178人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。

また、昼夜間人口比率は92.0%で昭和55年の106.1%をピークに減少を続けています。

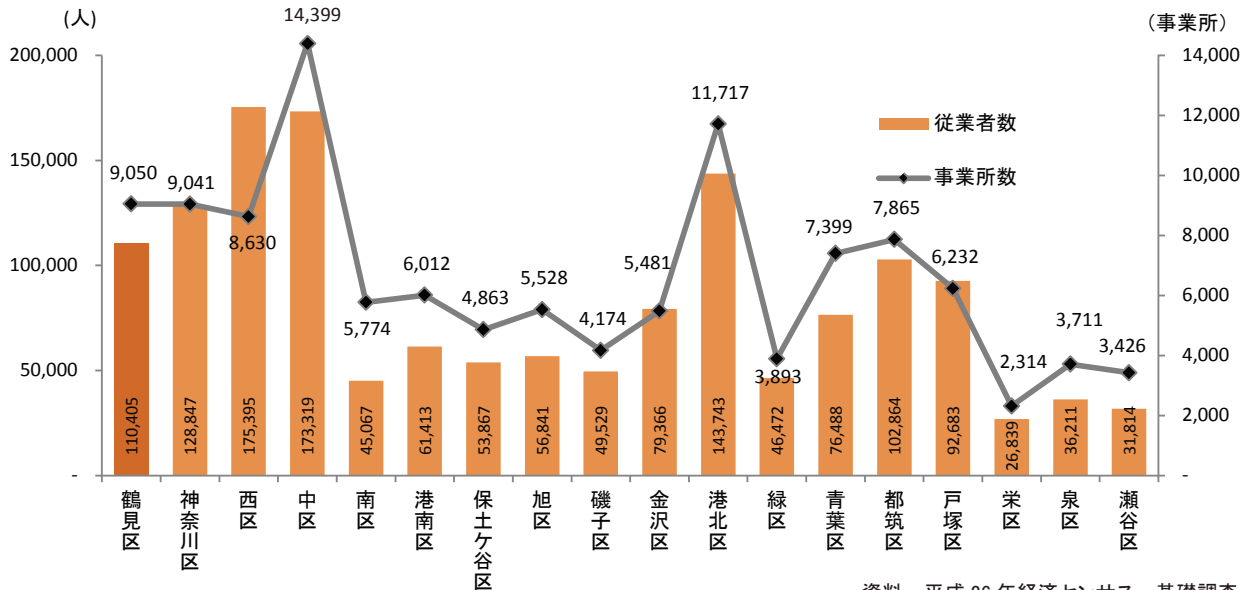




1 事業所

● 区別事業所数・従業者数

平成 26 年の鶴見区の事業所数は、9,050 事業所となっており、18 区の中では、中区（14,399 事業所）、港北区（11,717 事業所）に続き、3 番目の多さとなっています。従業者数は、110,405 人で、西区、中区、港北区、神奈川区に続いて5番目に多くなっています。



資料：平成 26 年経済センサス - 基礎調査

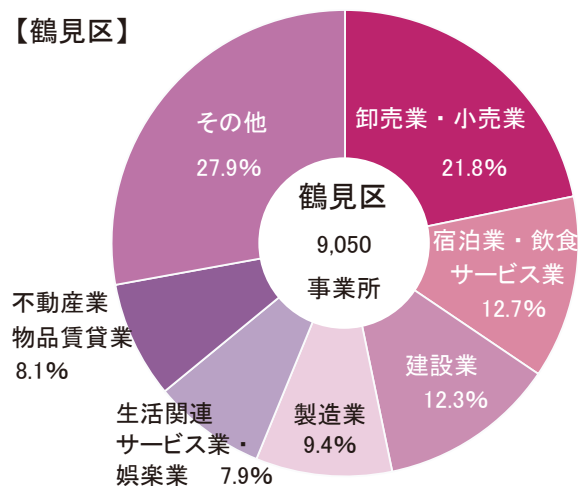
● 事業所数の産業大分類別構成比（鶴見区・横浜市）

鶴見区の仕事所数の構成比は、大きい順に、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、建設業、製造業となっています。

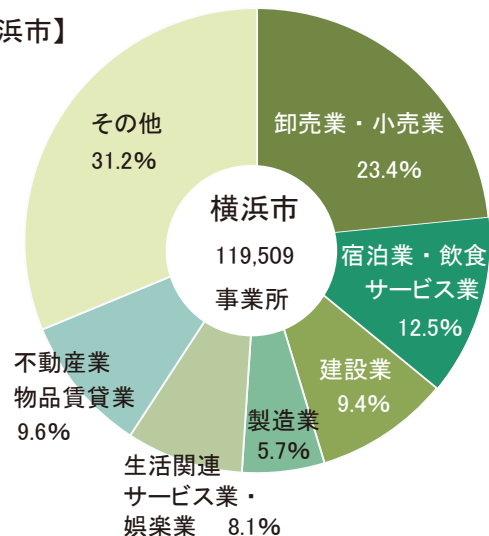
横浜市は、製造業が 6,849 事業所で、構成比では約 5.7% であるのに対し、鶴見区は製造業は 855 事業所で約 9.4% を占めています。横浜市の製造業の事業所の約 8 分の 1 が鶴見区にあり、鶴見区は製造業の割合が高いことがわかります。

資料：平成 26 年経済センサス - 基礎調査

【鶴見区】



【横浜市】



2 商業

横浜市と鶴見区の年間販売額構成比を比較してみると、鶴見区は、卸売業では「建築材料・鉱物・金属材料等」の割合が高くなっています。また、小売業では「飲食料品」の割合が高くなっています。

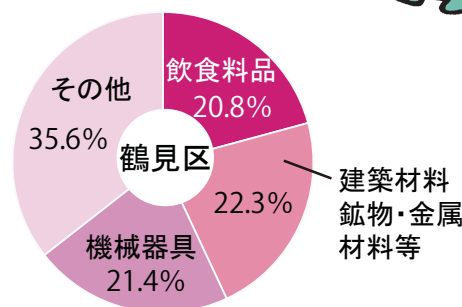
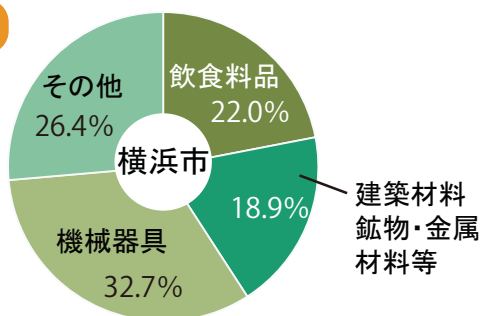
年間商品販売額は約 3,720 億円であり、18 区中8位となっています。

産業中分類別年間商品販売額構成比

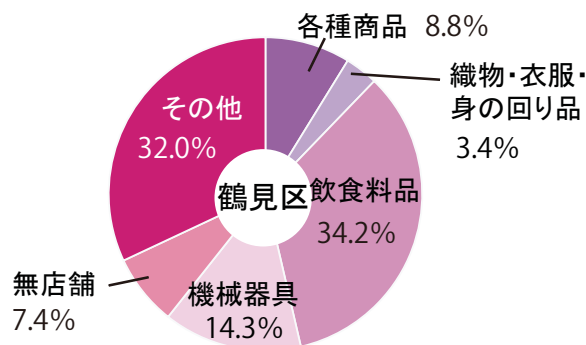
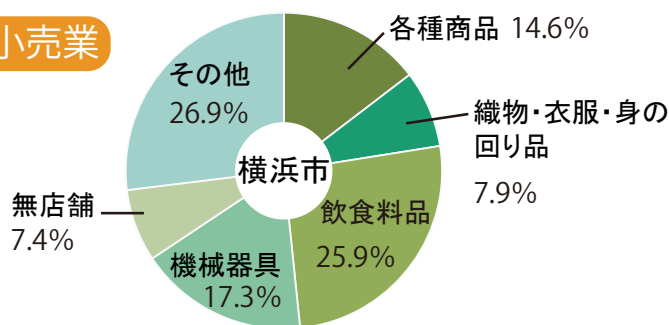
鶴見区の商店数は、中区、港北区、西区、神奈川区について18区中5番目の多さとなっています。



卸売業



小売業



区別商店数・従業員数・年間商品販売額

区別	商店数			従業員数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	年間商品 販売額順 位
	総数	卸売業	小売業			
横浜市	18,925	4,708	14,217	203,816	8,579,630	
鶴見区	1,326	324	1,002	11,872	372,072	8位
神奈川区	1,386	510	876	16,249	991,192	3位
西区	1,653	364	1,289	19,893	1,399,605	1位
中区	1,971	552	1,419	17,045	957,444	4位
南区	969	228	741	6,638	139,302	17位
港南区	957	148	809	10,956	263,212	11位
保土ヶ谷区	785	168	617	6,820	296,236	10位
旭区	863	159	704	8,709	222,402	12位
磯子区	634	129	505	6,265	170,584	15位
金沢区	954	298	656	10,323	407,496	7位
港北区	1,741	555	1,186	21,823	1,300,907	2位
緑区	630	138	492	7,171	185,767	13位
青葉区	1,203	200	1,003	12,880	346,823	9位
都筑区	1,287	390	897	17,536	655,272	5位
戸塚区	1,073	202	871	14,265	471,320	6位
栄区	362	88	274	3,424	81,302	18位
泉区	535	103	432	6,191	144,742	16位
瀬谷区	596	152	444	5,756	173,955	14位

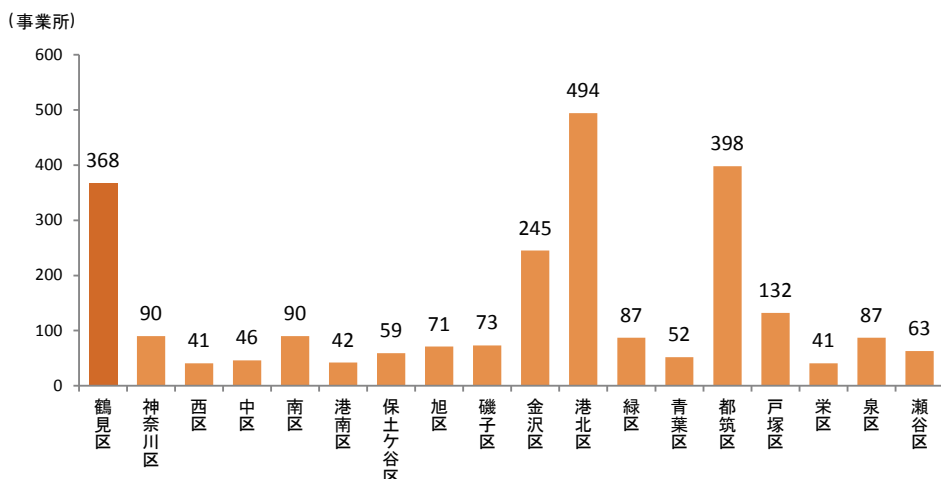
資料：平成26年商業統計調査

3 工業

鶴見区は、京浜工業地帯の中核として日本の重工業を支えてきました。事業所数については、昭和48年の1,096事業所をピークに、平成26年には368事業所とピーク時の約3割に減少し、また従業員数についても、60,000人を上回っていた昭和30年代後半と比べて、約4分の1となりましたが、いまだ、横浜市内で重要な位置を占めています。

資料：平成26年工業統計調査（従業者4人以上の事業所対象）

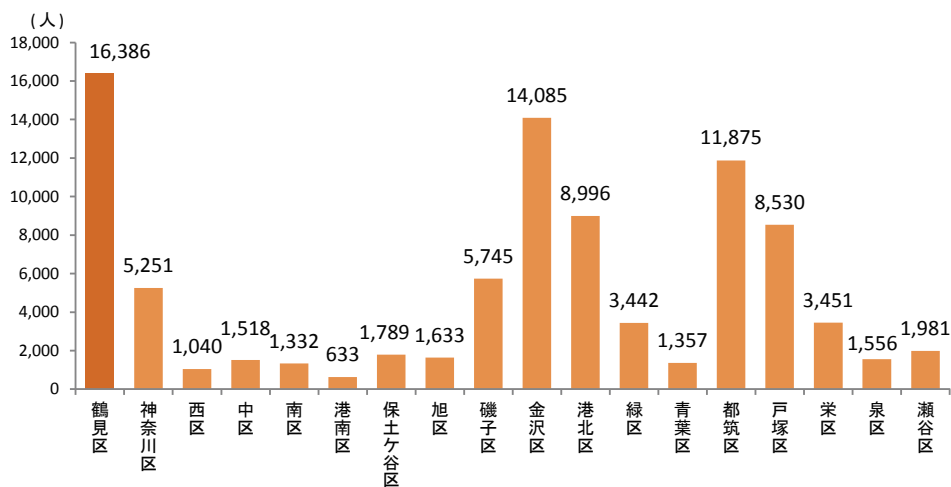
● 区別事業所数



鶴見区内には368の事業所があって、港北区、都筑区に続いて3番目に多いよ！



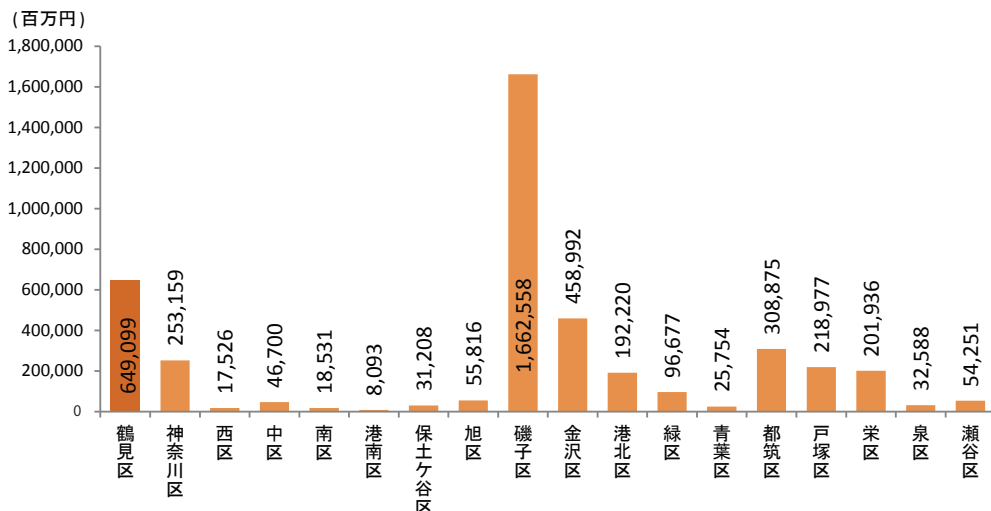
● 区別従業者数



鶴見区の従業者数は16,386人で、18区中、1番多いよ！



● 区別製造品出荷額等



製造品出荷額等については、18区中第2位！鶴見区の製造品出荷額等は、約6,500億円だよ！





1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	42,120	607,761
長屋建	1,118	23,214
共同住宅	84,899	971,904
その他	237	2,602
合計	128,374	1,605,481

資料: 平成 27 年国勢調査

鶴見で持ち家に
住む一般世帯は
58.6%だよ!



住宅の建て方をみると、共同住宅が最も多く 84,899 世帯 (住宅に住む一般世帯数に占める割合 66.1%) と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが 42,120 世帯 (32.8%) となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は、横浜市全体の 60.5% (971,904 世帯) と比べ 5.6 ポイント上回っています。

COLUMN 鶴見区の用途別水道使用量

平成 27 年度の鶴見区の水道使用量は、約 2,935 万 m³ でした。そのうち、公衆浴場用が約 13 万 m³ で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量 (約 80 万 m³) の約 16% を占めています。

なお、鶴見区の平成 27 年末の公衆浴場数は 34 で、18 区中、中区に次いで 2 番目の多さとなっています。

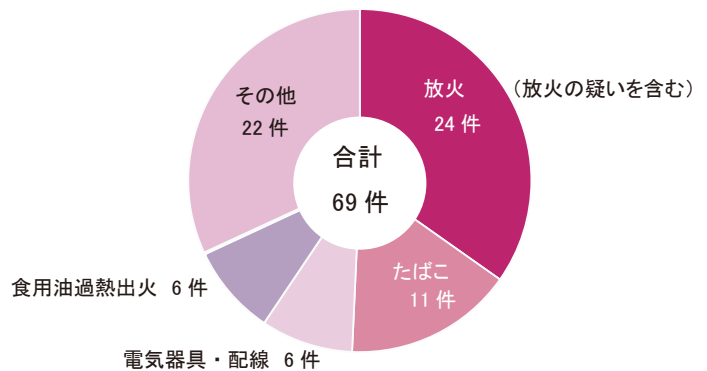
資料: 水道局及び横浜市統計書

2 消防

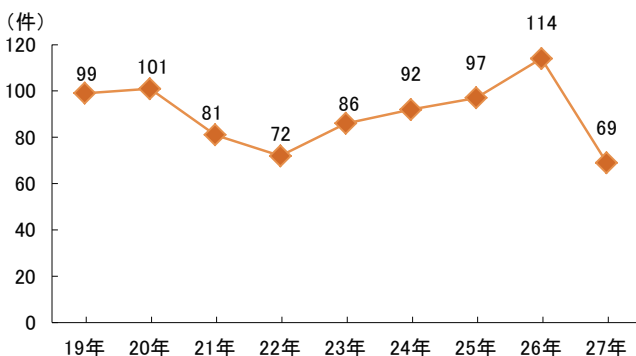
平成 27 年の火災発生件数は 69 件で、5 年ぶりに減少しました。火災の原因としては、「放火 (放火の疑いを含む)」が 24 件で一番多く、次いで「たばこ」が 11 件、「電気器具・配線」及び「食用油過熱出火」が 6 件となっています。

また、平成 27 年の救急車の出動件数は、13,458 件であり、出動理由としては、急病が 8,854 件と一番多く、全体の 65% 以上を占めています。

● 火災原因別件数

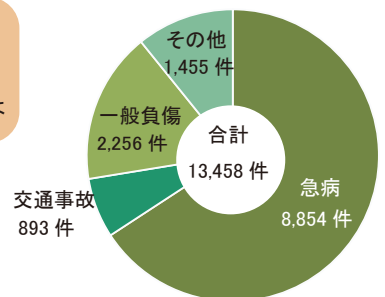


● 火災発生件数の推移



● 救急車出動理由

救急車は、平均
約 40 分に 1 回出動
している計算になるよ



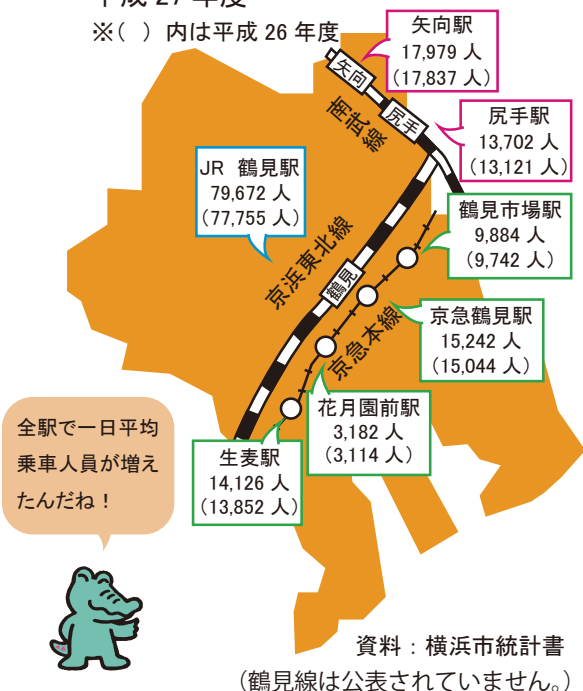
資料: 鶴見消防署

3 交通

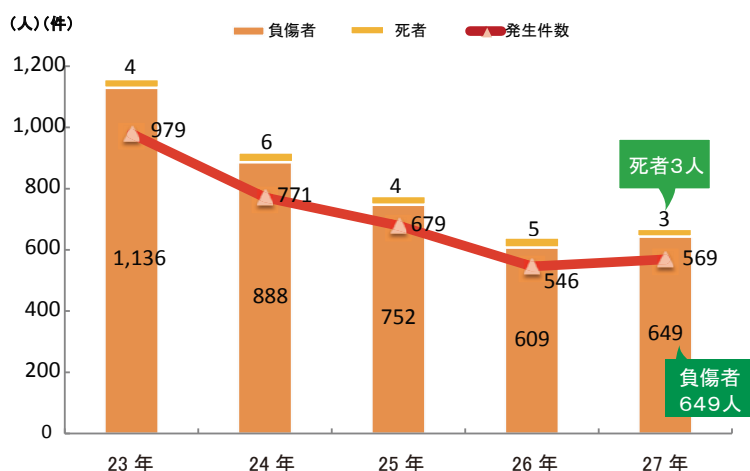
区内駅別一日平均乗車人員

平成 27 年度

※() 内は平成 26 年度



交通事故発生件数と死者・負傷者の推移



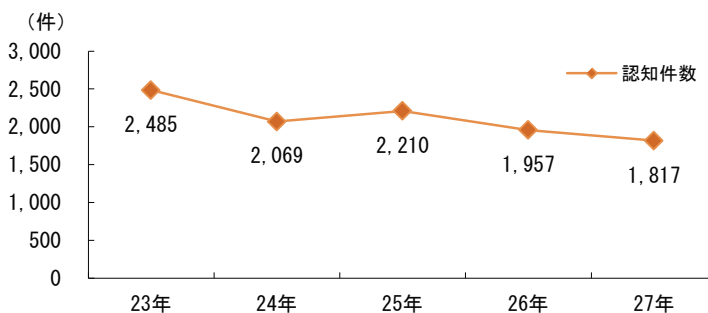
資料：鶴見警察署

平成 27 年中の交通事故による負傷者数は 649 人、死者数は 3 人でした。また、交通事故発生件数は 569 件であり、平成 13 年以降 14 年ぶりの増加となりました。

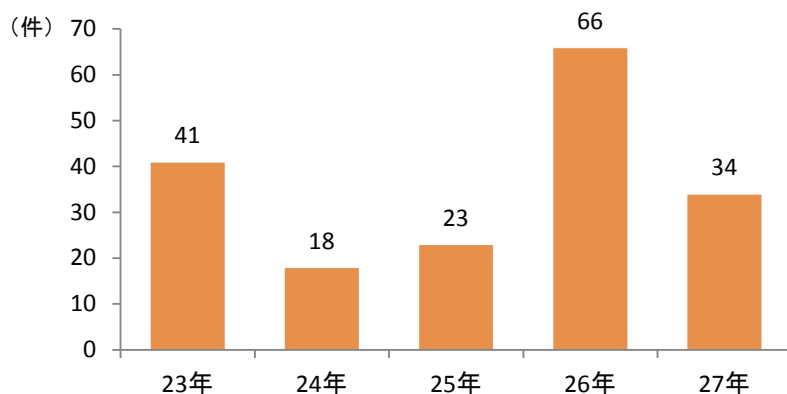
4 犯罪

犯罪（刑法犯）認知件数の推移

平成 27 年中の鶴見署の犯罪認知件数は 1,817 件で、平成 25 年以降減少を続けています。



振り込め詐欺件数推移



犯罪件数は昨年に比べて 140 件減少しました。横浜市全体では 2,500 件程度減少しました。



資料：鶴見警察署

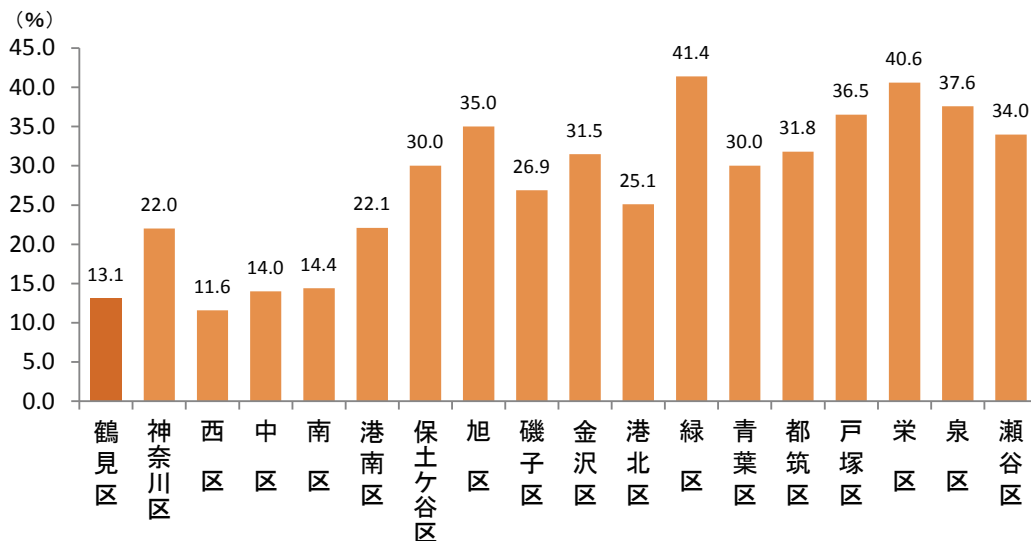
犯罪（刑法犯）の種類別認知件数（平成 27 年）

(単位：件)

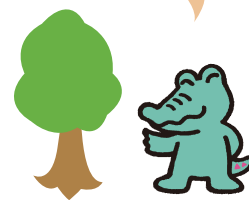
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯		知能犯	風俗犯	その他の刑法犯	総数
			自転車	その他				
鶴見署	11	133	535	860	66	22	190	1,817
横浜市	133	2,024	5,352	12,182	1,095	374	2,508	23,668

5 環境

● 緑被率（平成 26 年調査）

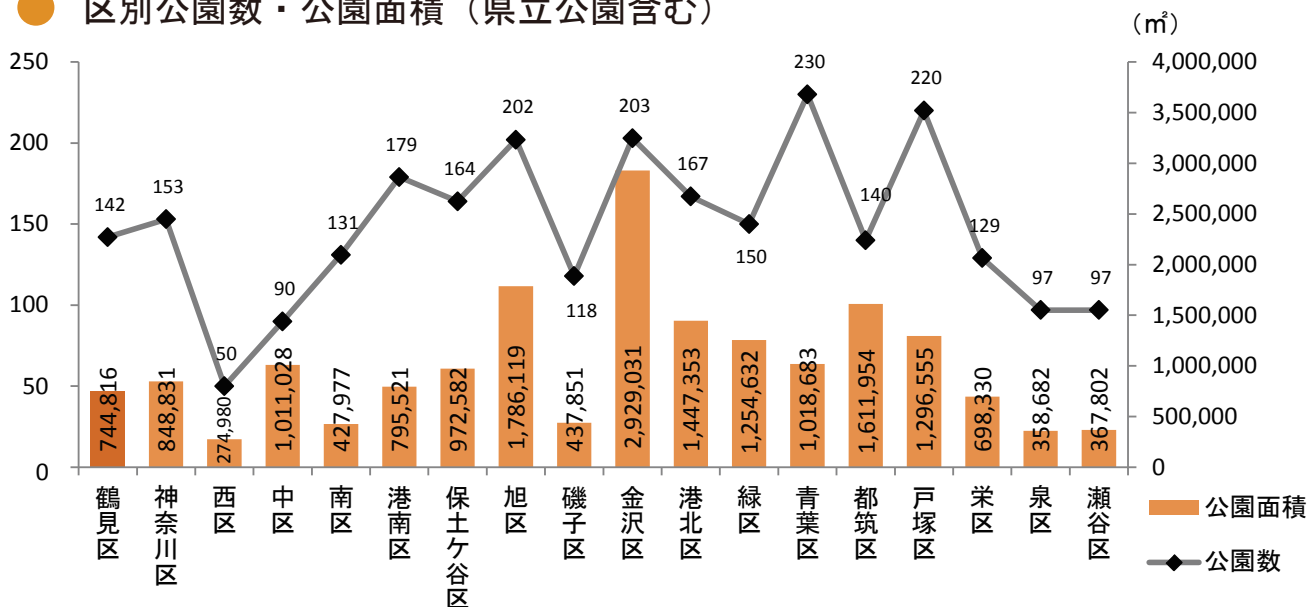


鶴見区の緑被率は、18区中17位です。鶴見区の緑被率は減少傾向にあります



資料：横浜市統計書

● 区別公園数・公園面積（県立公園含む）



資料：環境創造局

鶴見区には、平成 28 年 7 月 1 日現在、142 か所（前年比 2 か所増）の公園があり、その面積は 744,816 m²となっています。そのうち、県立公園である三ツ池公園が、区内の公園面積数の約 4 割を占めています。

COLUMN 鶴見川について

鶴見川は、全長は 42.5 キロメートル、横浜市内唯一の一級河川です。多摩丘陵の山中を源流とし、区内を北から南に蛇行しながら流れ、東京湾に注いでいます。川が曲がりくねって流れていることに加え、傾斜が緩やかであることにより、大雨が降るたびに下流で洪水を繰り返してきたため、昔から「暴れ川」と呼ばれていました。しかし、一方では、平時は川の流れが緩やかであるため、大正時代の末ごろまでは舟運が盛んで、川筋はとても賑わったといわれるなど、豊かな恵みをもたらしてきた一面もあります。

その後、流域の都市化に伴い、工場や生活排水等により鶴見川の汚染が進んでしまいましたが、現在は川をきれいにしようと環境保全活動が進んでいます。

6 区民フェスティバル

鶴見区では、毎年、春（三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル）・夏（鶴見川サマーフェスティバル）・秋（つるみ臨海フェスティバル）の3回、区民フェスティバルを開催しています。それぞれのフェスティバルは、会場周辺の地区連合町内会や地元企業により組織された実行委員会の企画運営により、開催されています。

● 三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル

多数の区民ボランティア参加のもと、ステージでの各団体の発表や、フリーマーケット、中学生ボランティアによる牛乳パックの回収などを通じて、「文化と環境」に関心を持ち、積極的に理解することを目的に開催しました。

また、鶴見区の友好交流都市である、福島県西会津町・棚倉町をはじめとする東北被災地県からも出店があり、特産物の販売などが行われました。

会場 県立三ツ池公園 **日時** 平成28年5月14日（土）



西会津町 鶴見区 棚倉町
「こゆりちゃん」 「ワックん」 「たなちゃん」

● 鶴見川サマーフェスティバル

区民の“ふるさと意識”を醸成するとともに、住民相互の連帯と親睦を深めることを目的に開催しました。

川のイベント（Eボート体験、クルーズ）、模擬店・PRブース、鶴見川コンサート、鶴見川花火大会など、1日中楽しめるイベントとなっています。特に、夏の夜空を彩る花火は、鶴見川の夏の風物詩として、区民の皆様にも親しまれています。

毎回多数の区民ボランティアに支えられ、無事に開催することができました。

会場 鶴見川および佃野公園周辺 **日時** 平成28年8月20日（土）



● つるみ臨海フェスティバル

「鶴見大好き 私のふるさとーみんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマとして、臨海部に親しみながら誰もが楽しめるふれあいの場を提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていけるあたたかな地域づくりを目的に開催しました。ステージでは、地元団体による楽器演奏やダンス等が披露され、出店ブースでは、大分県佐伯市鶴見から「寿司トラック」がやってきました。

また、沖縄の食と文化を体験できるリトルおきなわゾーンや、移動動物園によるポニー乗馬体験、動物とのふれあいコーナーが設けられ、会場は大いに賑わいました。

会場 入船公園 **日時** 平成28年10月15日（土）



団体によるステージイベント（サンパショー）

この3つ以外にも、区内ではさまざまなお祭りやイベントが行われているよ！



資料：鶴見区地域振興課

7 市税

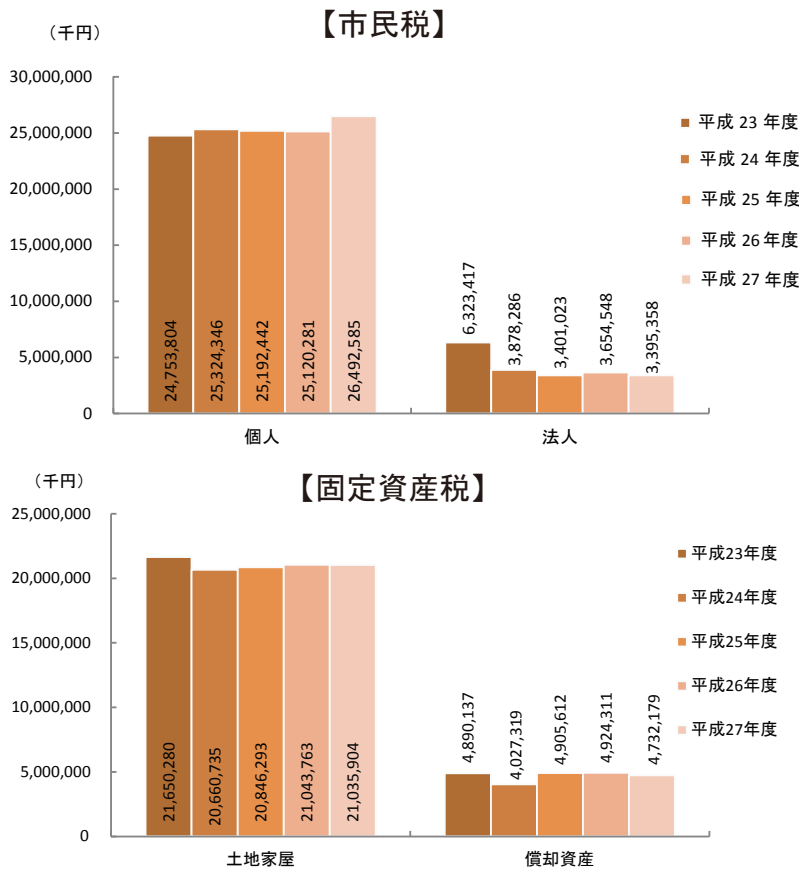
横浜市の平成 27 年度の市税収入は、約 7,190 億円で、前年度に比べ約 10 億円の減収。税別では、

①「個人市民税」は、給与所得納税者数の増加などにより増収。

②「固定資産税・都市計画税」は、家屋の評価額の下落などによる減収。

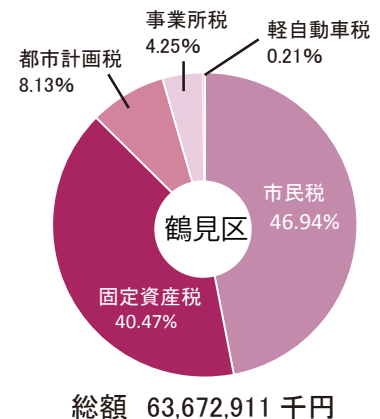
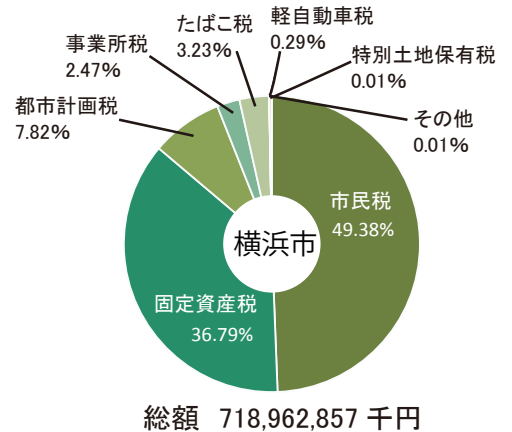
そのほか、平成 26 年度に実施された一部国税化による税率引下げの影響により法人市民税が減収と なっています。なお、鶴見区の平成 27 年度の市税収入は約 637 億円で、市全体の 8.86%を占めています。

● 鶴見区税別収入の推移



資料：平成 27 年度市税決算額調

● 市税収入の構成比（平成 27 年度）



資料：平成 27 年度市税決算額調

8 戸籍

● 戸籍数（本籍）（平成 28 年 3 月 31 日現在）

横浜市合計 1,256,531 戸籍（単位：戸籍）

1位	2位	3位
港北区 105,103	鶴見区 102,470	神奈川区 88,776

鶴見区の戸籍数（本籍）は平成 28 年 3 月 31 日現在 102,470 戸籍、また、区内に住所を定めている世帯の数は、141,340 世帯で、それぞれ港北区に次いで 18 区中第 2 位の多さとなっています。資料：鶴見区戸籍課

● 住民登録世帯数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

横浜市合計 1,744,430 世帯（単位：世帯）

1位	2位	3位
港北区 165,482	鶴見区 141,340	青葉区 131,703

前年に比べて、戸籍数、住民登録世帯数ともに増加しているよ！

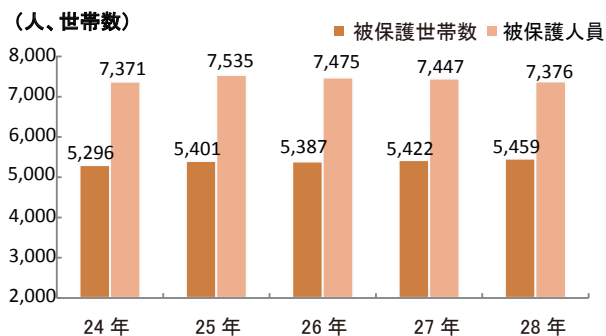


9 生活保護

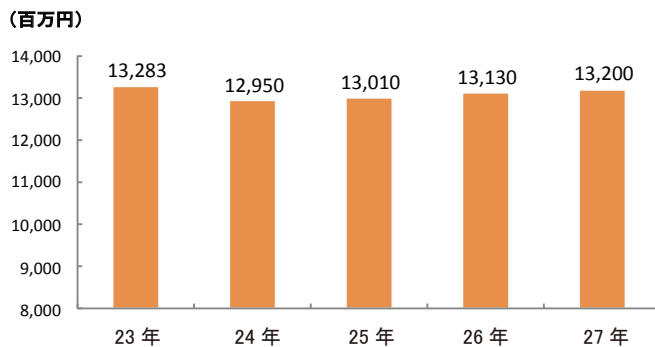
平成 28 年 4 月現在の鶴見区において、生活保護を受給している世帯は 5,459 世帯、人員は 7,376 人で、それぞれ中区、南区に次いで 18 区中 3 位となっています。

最近の鶴見区の動向としては、被保護世帯数は横ばいの状態となっています。しかし、高齢化の影響により、平成 28 年度の高齢者世帯（65 歳以上）は 2,800 世帯と、平成 26 年度から約 250 世帯増加しています。

● 生活保護人員・世帯数の推移（各年 4 月現在）



● 生活保護費の推移（各年度）

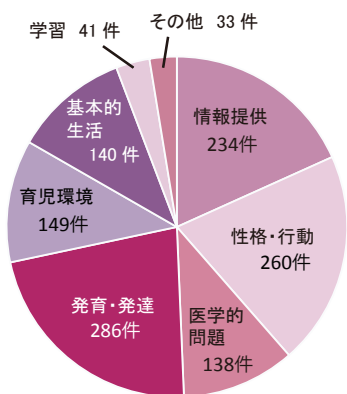


資料：鶴見区生活支援課

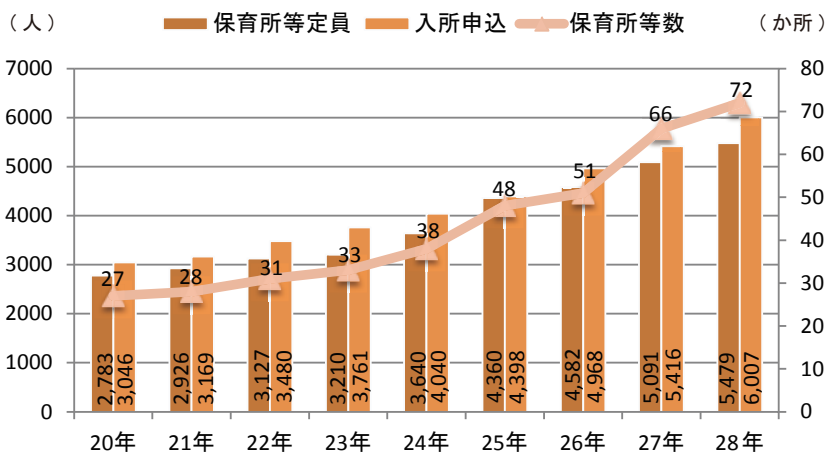
10 子育て

● 子ども家庭支援相談状況

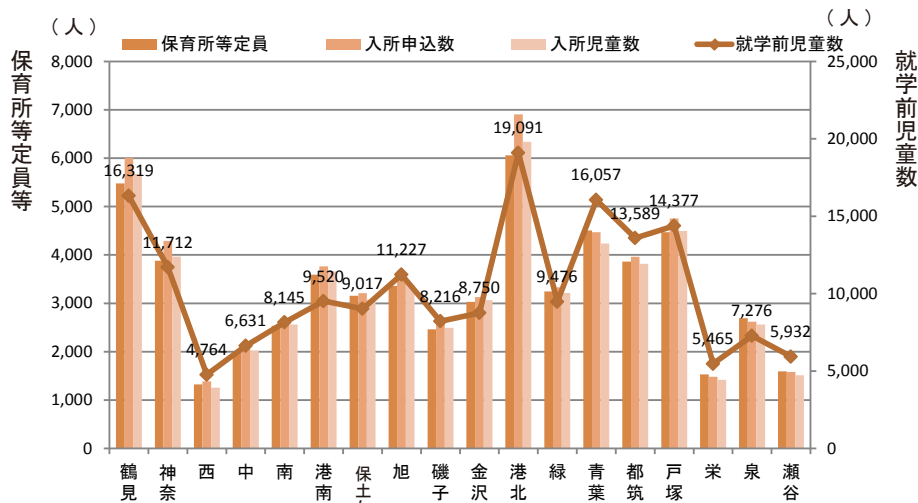
（平成 27 年度延べ件数）



● 鶴見区の保育所等利用状況について（各年 4 月 1 日）



● 18 区の就学前児童数と保育所等の状況（平成 28 年 4 月 1 日現在）



鶴見区は就学前児童数が 18 区中 2 番目に多く、保育所等の定員数は 2 番目に多いよ。でも就学前児童数が増加傾向にあるから保育所の整備がまだまだ必要な地域もあるよ。



資料：鶴見区子ども家庭支援課

※保育所等：平成 27 年 4 月から保育所・幼保連携型認定こども園のほか、地域型保育（家庭的保育、小規模保育、事業所内保育）を含む。

11 健康

● 主な死因の状況

がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病による死因が約6割を占めています。

主な死因の死亡数（単位：人）

	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰	自殺	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	腎不全	その他
25年	2,205	666	322	234	166	87	122	58	41	24	33	452
26年	2,252	686	332	194	193	69	136	43	46	37	44	472
27年	2,241	737	352	168	135	73	165	37	42	34	34	464

● 平均寿命

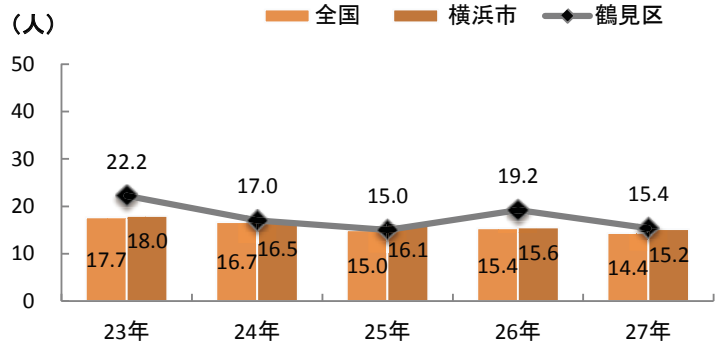
鶴見区の平均寿命（0歳の平均余命）は、男性で18区中17位、女性で18区中14位となっています。

区別生命表：平均寿命（0歳平均余命）（平成23年）

	男	女
横浜市	80.27	86.30
鶴見区	78.76	85.61
神奈川区	79.75	86.31
西区	79.60	85.22
中区	76.41	84.57
南区	79.07	84.79
港南区	80.59	87.16
保土ヶ谷区	79.45	86.47
旭区	79.71	86.00
磯子区	79.72	86.44
金沢区	81.03	86.75
港北区	81.32	86.94
緑区	81.14	85.84
青葉区	82.04	87.10
都筑区	82.49	86.90
戸塚区	80.95	86.36
栄区	81.38	88.08
泉区	80.76	86.22
瀬谷区	79.69	85.49

● 結核

鶴見区の結核罹患率は、平成26年は微増しましたが、ここ数年減少傾向にあります。



※結核罹患率とは、新規結核登録者数を人口10万人に換算した数値

結核の予防には、栄養バランスのとれた食生活、十分な休息、禁煙など健康管理に注意することが大切だよ！咳が2週間以上止まらない、微熱が続く等の症状がある場合は、最寄りの内科・呼吸器科を受診しましょう。



資料：鶴見区福祉保健課

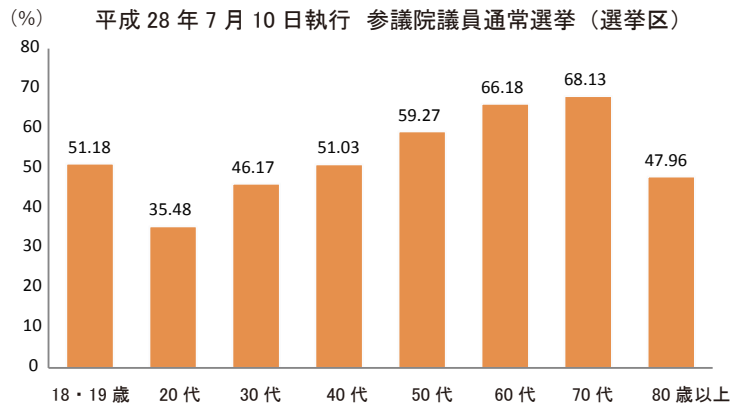
12 選挙

鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が最も低く、若年層を中心に投票率の向上が課題となっています。

● 最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)		18区中順位
		鶴見区	横浜市	
参議院議員通常選挙(選挙区)	H28.7.10	53.11	56.53	17位
統一地方選挙(市会)	H27.4.12	39.79	42.00	15位
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H26.12.14	50.03	54.06	17位
横浜市長選挙	H25.8.25	26.25	29.05	18位
参議院議員通常選挙(選挙区)	H25.7.21	52.37	55.54	16位
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H24.12.16	56.72	60.50	16位

● 鶴見区年齢別投票率（在外投票を除く）





鶴見区が友好交流都市として協定を結び、交流・協力関係を築いている3都市を紹介するよ！この3都市は鶴見区のお祭りにも特産品などを出店してくれているんだよ！



たなぐらまち
福島県棚倉町

人を・心を・時をつなぐ たなぐらまち
～ほっとする わたしのふるさと～

福島県南部に位置する棚倉町の歴史は古く、1万年以上も前に生活を営んでいた形跡が、遺跡から発見された石器類により判明しています。江戸時代には、棚倉藩十萬石の城下町として、地域の政治・経済・文化の中心地、交通の要所として栄えてきました。

町の特産品は、棚倉産コシヒカリ、棚倉いちご、棚倉産ブルーベリー、こんにゃく、季節の野菜などがあります。



たなちゃん

にしあいづまち
福島県西会津町

みんなの音が響くまち にしあいづ

福島県西北部にある西会津町は、会津の西の玄関口として、「会津の霊地」信仰の里として古い歴史と美しい自然に恵まれた人情味豊かな町です。

歴史との出会いの「ふれあいの観光」、風光明媚な自然と接する「目で見る観光」、山菜、手打ちそば、溪流魚、地酒など「食べる観光」を柱として観光の町づくりに取り組んでいます。



こゆりちゃん

わじまし
石川県輪島市

能登半島の北西部にある輪島市は、豊かな緑と海に囲まれた人口約3万人の町です。中世に曹洞宗の本山「總持寺」が開かれ、北前船の時代には「親の湊」と呼ばれ海上交通の要衝として栄えるとともに、江戸中期以降は漆器業（輪島塗）が盛んになりました。

現在、「漆の里」「禅の里」「平家の里」の3つの里構想を前面に、町の魅力を発信しています。

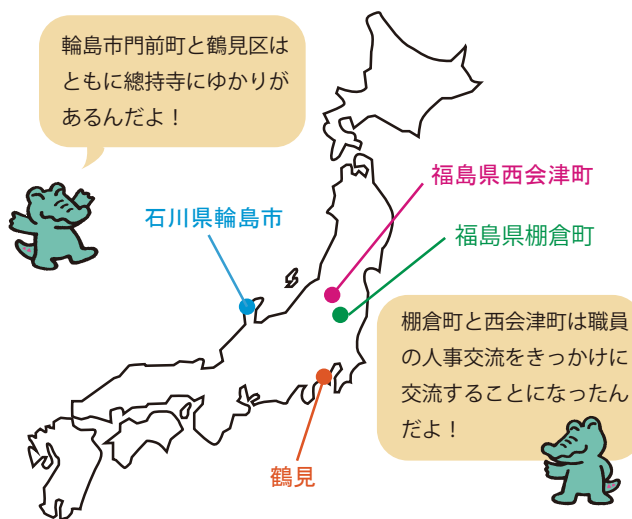


まありん



ワックんともんちゃん（輪島市門前町商工会）

輪島市門前町と鶴見区はともに總持寺にゆかりがあるんだよ！



棚倉町と西会津町は職員の人事交流をきっかけに交流することになったんだよ！



kura-cafe kura-cafe (くらカフェ) kura-cafe

レアルつくの商店街（鶴見区佃野町）にあるkura-cafeでは、空き店舗を活用し、棚倉町・西会津町の特産品を中心にふるさとの食材等を販売しています。現地ツアーや交流会も行っています。

所在地 横浜市鶴見区佃野町 25-2

営業時間 10:00～18:00

営業日 火・水・金・土

（祝日も営業の場合あり）

Tel 045-574-3317





つるみマップ



COLUMN

鶴見にもお城があった！！

鶴見区には、戦国時代の武将・諏訪三河守が築いたといわれる「寺尾城」の遺構があります。お城といっても、天守閣のあるような建物ではなく、砦のような山城であったようですが、寺尾城については、未解明の部分が多く、その全容は謎に包まれています。

代々、小田原北条市に仕える武将であった諏訪氏が、1575年に滅びるまで、5代にわたり百数十年間、寺尾城に居住したとされています。

横浜市の統計資料を探すなら



横浜市統計ポータルサイト

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>

横浜 統計

検索



横浜市の最新の人口・世帯数や、主要な統計情報を提供する横浜市のホームページです。鶴見区の過去から現在にかけての人口・世帯数の推移や、主要な統計情報を見ることができます。本書に載せきれなかった情報もありますので、是非、御利用ください。

【画像イメージ】

The screenshot shows the homepage of the Yokohama City Statistical Portal. At the top, there is a navigation bar with the city name '横浜市' and a search function. Below this, the main heading reads '統計情報の総合窓口 横浜市統計ポータルサイト'. A search bar is located on the right side of the main heading. Below the heading, there are several menu items: 'トップ', '主な統計調査結果', '横浜市統計書', '大都市比較統計年表', '市民経済計算', and 'その他'. On the left side, there is a sidebar with sections for '平成28年12月1日現在の推計' (showing population of 3,732,092 and households of 1,661,280), 'OPEN DATA 統計横浜', '記者発表', 'カテゴリ' (listing various statistical reports), and 'その他' (listing additional data and resources). The main content area is titled '横浜の人口' and contains four main sections: 1. 人口ニュース (Monthly update), 2. 人口動態と年齢別人口 (Annual update), 3. 年齢(各歳・5歳階級)別男女別人口 (Annual update), and 4. 大都市推計人口 (Monthly update). Each section includes links to the latest news and PDF versions, as well as historical data.

T S U R U M I



T S U R U M I



発行:鶴見区役所 総務課 統計選挙係

横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1

電話 045-510-1660

FAX 045-510-1889

<http://city.yokohama.lg.jp/tsurumi/>

平成 28 年 12 月発行

T S U R U M I



T S U R U M I